

## 2022年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修（基礎編）報告

1. 開催日時：2023年2月5日（日）13：30～16：00
2. 会場：Web開催（Zoomを使用）
3. 参加者数：74名（会員58名 非会員16名） 事前申し込み87名（欠席13名）
4. テーマ・講師

テーマ：高齢者の身体拘束予防・解除に向けた取り組み

講義1：急性期病院での取り組み

内部孝子氏（松江赤十字病院 老人看護専門看護師）

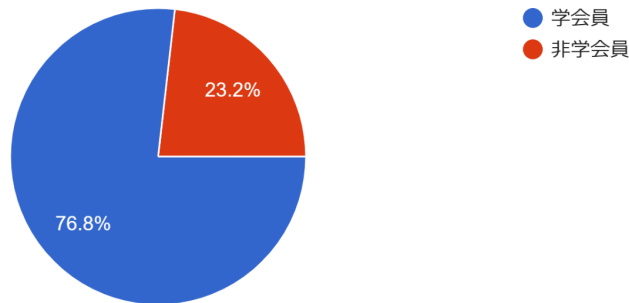
講義2：慢性病院での取り組み

山根裕子氏（松江医療センター 老人看護専門看護師）

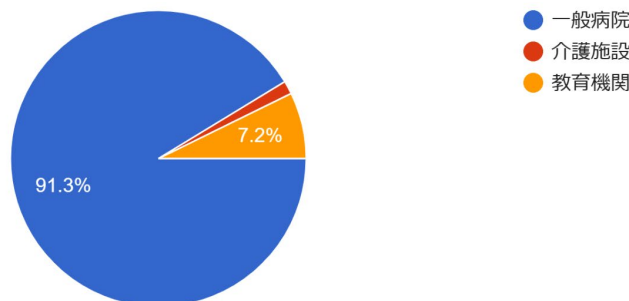
### 5. アンケート結果・感想

回答者数69名（回答率93.24%）

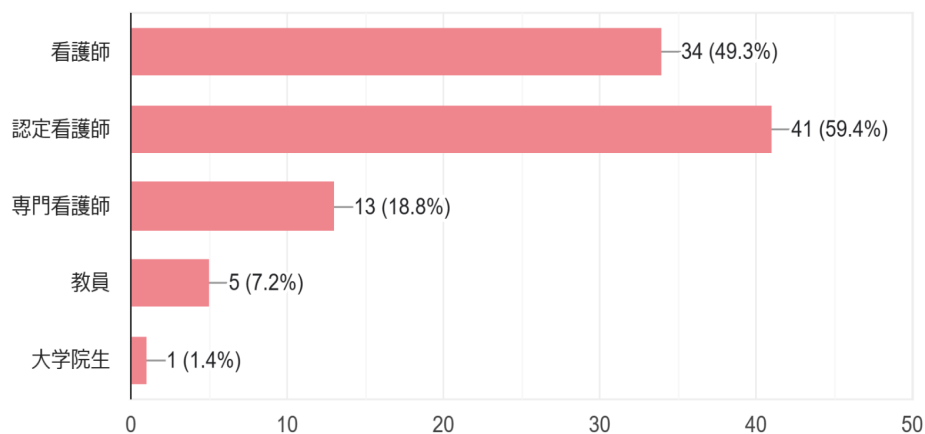
#### 1) 日本老年看護学会への入会状況



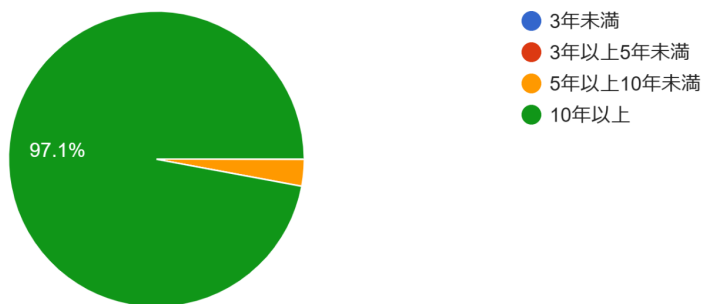
#### 2) 現在の勤務先



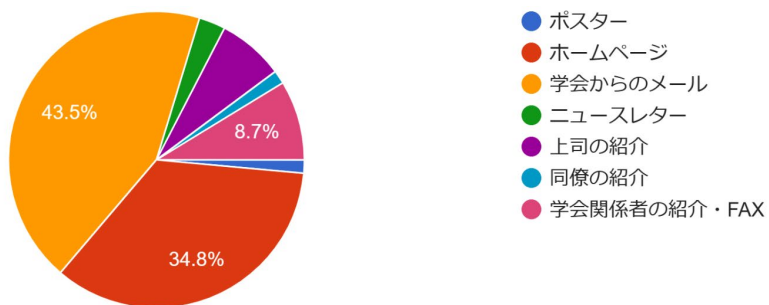
### 3) 職種（複数回答）



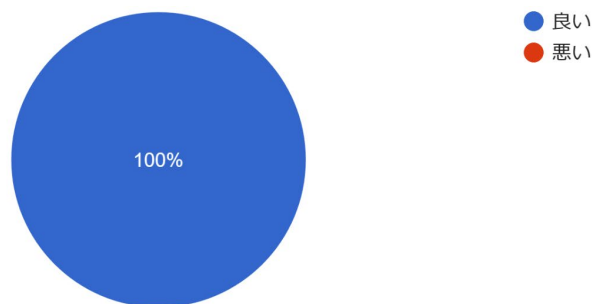
### 4) 看護師経験年数



### 5) 今回の研修をどのように知りましたか



## 6) 開催時期について



### 【ご意見】

#### ○開催時期（2月初旬）について

- ・ 来年度の計画を立てる上で適切な時期だったと思います
- ・ 年度末で1年間の振り返りを個人的にも、職場でもできる時期なのでこの時期でよかった
- ・ 2月に研修が詰まっているので、もう少し分けて頂いた方が参加しやすいです。受験シーズンであることから子供関係での休みが必要な時期なので、集中するのであれば異なった時期を検討して頂けたらありがたいです。

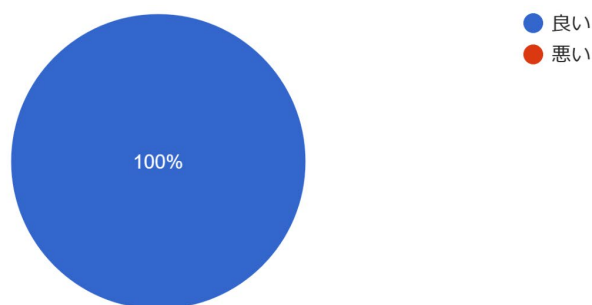
#### ○開催曜日について

- ・ 認定看護師としての活動日が平日のため、休日（土日祝日）が良い

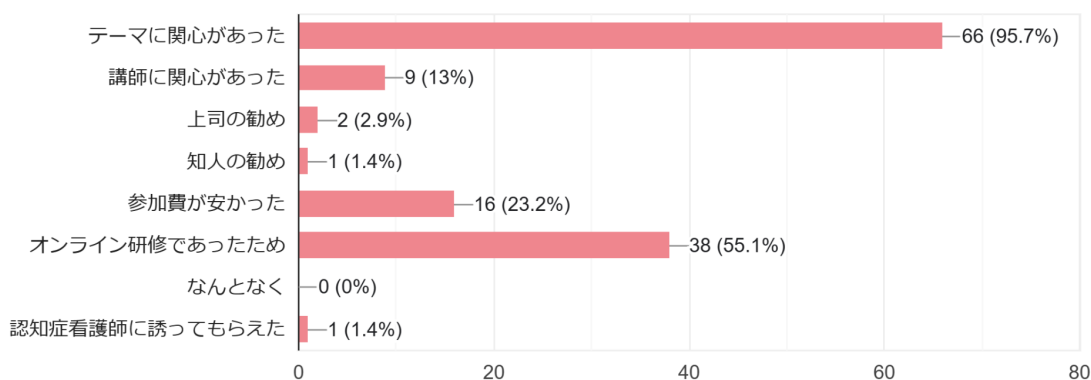
#### ○その他

- ・ 先月、病院で身体拘束についての勉強会を実施したのですが、この研修の学びを取り入れることが出来ないのが残念です。次回の勉強会の参考にさせていただきます。

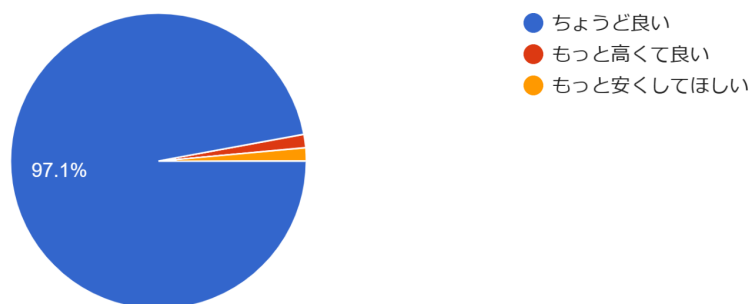
## 7) 開催時間（午後の2時間半）



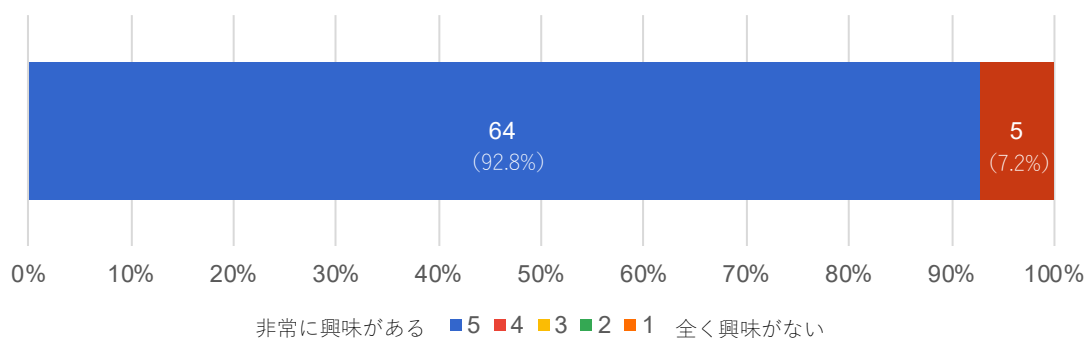
## 8) 受講動機について（複数回答）



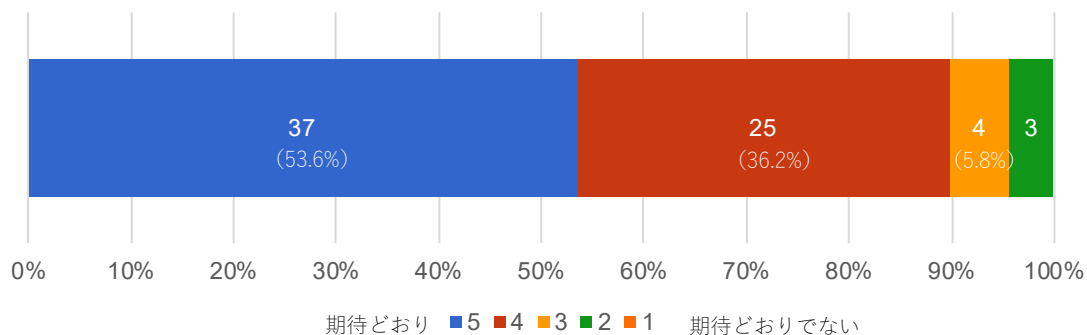
### 9) 会費について



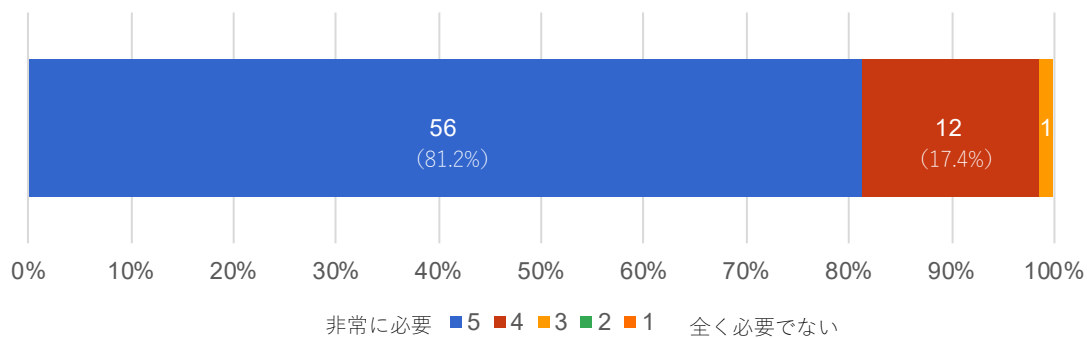
### 10) 本日のテーマについて



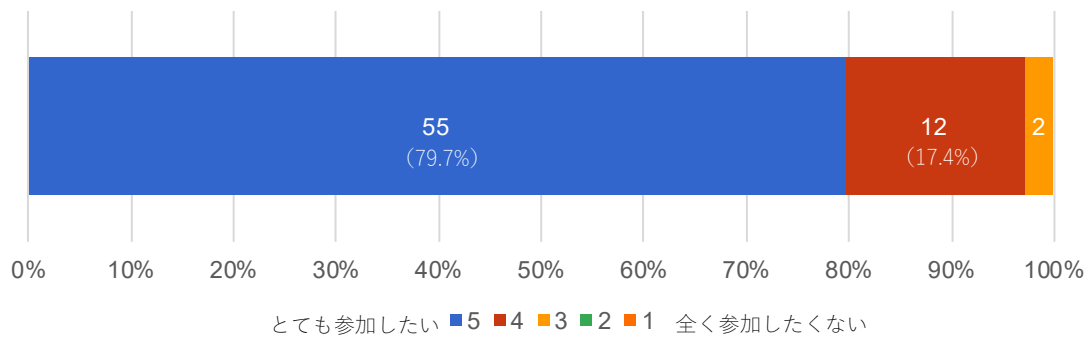
### 11) 本日の研修は期待通りでしたか



### 12) 老年看護における看護師の生涯学習支援について



13) 今後も本学会主催の研修に参加したいですか



14) 研修として取り上げてほしいテーマ

○高齢者の身体拘束予防・解除に向けた取り組みに関するテーマ

- ・ 身体拘束最小化に向けたカンファレンスのファシリテーション
- ・ 身体拘束予防・解除、倫理的感受性を高めるための支援、ACPの推進、チームビルディング
- ・ 身体抑制解除に向けて、効率的なカンファレンスの方法や充実した記録の書き方
- ・ スタッフの意識が変わった成功事例、転倒を予防するベッド回りの環境整備、使用物品など

○その他のテーマ

- ・ 食支援、非癌患者の終末期の苦痛緩和
- ・ 認知症の意思決定支援
- ・ 高齢者総合機能評価を活用した看護支援の実際
- ・ 高齢者の睡眠、排泄
- ・ 意思決定支援、ACP、身体抑制解除に向けた取り組み
- ・ 超高齢者の必要エネルギー量の考え方について
- ・ 意思決定支援、認知症ケアの質評価の方法など
- ・ 認知症ケアチームやリンクナース、コアナースの具体的な活動内容
- ・ 新人ナースへの教育について
- ・ 心理学の心理過程から高齢者のケアを考える
- ・ 急性期病院におけるACPの実際と記録様式
- ・ せん妄、転倒転落予防、排泄ケア、食への支援、
- ・ 高齢者の退院支援上の課題とその取り組み状況（どのような課題があり、それに対してどのように取り組んでいるか）
- ・ 一人暮らし、身寄りのない高齢者の意思決定支援について
- ・ 意思決定やACP
- ・ 認知症高齢者の食事
- ・ 認知症ケアチームの取り組み
- ・ 患者様の意思決定支援について

- ・ 認定看護師がどのように活動しているか、また、ケアチーム立ち上げについての流れや活動状況
- ・ 高齢者（認知症高齢者含む）の ACP について
- ・ 高齢者の排泄ケア、終末期の患者・家族の意思確認（EOL について）
- ・ 日常生活援助
- ・ コロナ禍が高齢者看護に与えた影響に関して看護職がどう向き合い、これからは活かしていくのか。
- ・ 痛みの緩和 緩和ケア 意思決定支援（治療や療養の場の選択において、本人が置いていかれていることにジレンマを感じています）
- ・ 高齢患者さんの意思決定支援
- ・ 患者意思決定支援、認知症ケア
- ・ パーソン・センタード・ケアの実践について
- ・ 認知症患者について、一般看護師への指導、教育について。有効なカンファレンスのあり方 15.

#### 15) 老年看護学会への要望

- ・ 講師の先生の講義はもちろんのこと、グループディスカッションの時間で他の病院の方のお話を沢山聞いてとても有意義であった。
- ・ グループワークにもう少し時間があればよいと思います。
- ・ 有意義なテーマでの研修開催をありがとうございます。意見交換の場があったことで、他院の状況を知ったりアイデアを頂いたりできました。
- ・ 具体的事例を含めた発表だったので、自分の病院でも参考にしやすいと思いました。いつもモヤモヤを感じながらの活動ですが、今回の研修でまた刺激を受けました。ありがとうございます。
- ・ 本日の研修のグループワークで自分が何グループか把握しておらず、ご迷惑をかけしました。また、グループ内で発表者を決めていませんでした。時間を有効に使えず、すみませんでした。
- ・ 学会に入会を希望していますが、身近に老年看護専門看護師の方がおられない場合は難しいでしょうか
- ・ 本日は貴重な講義をありがとうございました。育児や勤務調整の点から、オンライン研修は大変助かります。引き続きよろしくお願い致します。
- ・ 本日は研修ありがとうございました。講義内容や参加者の皆さんから様々なご意見が聞けてとても参考になりました。
- ・ 身体拘束を予防するという考え方をもっと医療界全体で考えられるようでありたいと日々感じています。本日、ジレンマを話し合えることの重要性を実感しました。ありがとうございました。
- ・ 参加希望が遅くなったにも関わらず、丁寧に対応いただきありがとうございました。
- ・ zoom研修に慣れておらず、どこにグループナンバーが表示してあったのかわかりませんでした。講師の先生が当ててくださっていたのかもしれませんが。そのような状況がありましたら大変失礼いたしました。

- ・ 倫理的ジレンマを話せる組織にすることの重要性を学びました。ありがとうございました。
- ・ 内部先生の講義では貴重な自施設のデータ開示をしてくださり、大変勉強になりました。倫理的感受性は知りませんでした。ありがとうございました。山根先生の講義では、4分割表での情報整理に興味を持ちました。今後活用してみます。グループワークでは少人数で、話しやすかったです。身体拘束と転倒について、家族に意向を聞くのも一つの方法と思いました。縛ってでも転ばせないでほしいと言われたら困りますが、それは家族へ倫理的な説明が必要ですが、家族が、転ぶかもしれないけど、自由に歩かせてほしいと希望すれば、万が一転倒してしまったとしても、看護師はそれほど罪の意識を持たず、また責められないかなと思います。今後医師、病院側と相談してみます。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 自分自身の関わり方も消極的であったと思うのですが、グループワークや発表がスムーズではなかったように思います。2人の講師の内容に重複点がもう少し少ないと効果的であったようにも思います。
- ・ 事前に何時から何時までは画面 ON にするなど細かな当日の流れが知りたかった、講師の講義中に質問が何件か来ていて集中に欠けてしまうため質問対応について検討してもらいます